

会社概要

商号 林兼産業株式会社
本店所在地 〒750-8608
山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL (083) 266-0210 FAX (083) 266-1266
主要製品 食肉加工品(キリシマハム)・肉類(霧島黒豚)
魚肉ハム・ソーセージ
機能性食品(エラスチン・ソフミート)
養魚用飼料

役員一覧

2023年9月30日現在

取締役社長 (代表取締役)	中 部 哲 二
専務取締役 経営管理本部長	三 代 健 造
取締役 飼料事業部長	高 田 啓 吾
取締役 食品事業部長	平 野 斉
取締役(非常勤)	安 部 克 彦
取締役(非常勤)	鈴 田 修 士
取締役(非常勤)	Peter John Taylor
監査等委員(社外・非常勤)	岩 村 修 二
監査等委員(社外・非常勤)	山 尾 哲 之
監査等委員(社外・非常勤)	三 田 村 知 尋
監査等委員(社外・常勤)	中 嶋 一 貴

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の口座管理機関	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
連絡先	電話 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所(スタンダード市場)
公告の方法	電子公告により行う



この報告書は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。

Today's Special

寒い季節に 当社オンラインショップのおすすめ商品

霧島黒豚 煮込みハンバーグ



自社ブランド「霧島黒豚」のお肉を丁寧に混ぜ合わせ、蒸して旨みを閉じ込め、高温でじっくり焼き上げることで柔らかくてふっくらした食感の煮込みハンバーグ。箸を入れた瞬間、溢れ出てくる肉汁は脂身部分である白肉の旨味。ハヤシカネオリジナルの「デミグラスソース」、「和風おろしソース」、「大人の照り焼きソース」は格別です。湯せんで温めるだけで簡単豪華な一品に。ぜひご堪能ください。

オンラインショップはこちら



ブランドサイトはこちら



当社ホームページでIR情報等がご覧いただけます。

<https://www.hayashikane.co.jp/>

林兼産業

検索

証券コード | 2286

With you

第85期

中間期

株主通信

2023年4月1日～2023年9月30日



社長から皆さまへ

株主の皆さまに第85期中間株主通信をお手もとにお届け申しあげるにあたりまして、日ごろのご愛顧とご支援に厚く御礼申し上げます。

当中間期の当社グループの売上高は、原材料価格やエネルギーコストの高騰に対応するために行った食品・飼料の価格改定により237億49百万円(前年同期比13.8%増加)となりました。損益面におきましては、価格改定による利益率の改善などにより、営業利益は7億46百万円(前年同期は55百万円の営業利益)、経常利益は8億52百万円(前年同期比738.1%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億25百万円(前年同期は11百万円の四半期純利益)となりました。

このような状況のなか、当社グループは昨年4月に「中期経営計画<挑戦>PhaseII<<challenge2024>>」(2023年3月期～2024年3月期)を策定し、実行中です。前中期経営計画に引き続き、変化を恐れぬ挑戦を継続し、経営資源の更なる選択と集中による構造改革を推し進めて収益力をより強固なものにするとともに、環境負荷の軽減(温室効果ガス排出量削減や地球温暖化対策)に努めるなど、事業活動を通じてSDGsの達成に貢献することを目指しております。今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

取締役社長
中部 哲二



※「中期経営計画<挑戦>PhaseII<<challenge2024>>」の詳細につきましては、当社ホームページ「中期経営計画」をご参照ください。
[<https://www.hayashikane.co.jp/ir/managementplan/>]

セグメント概況

[食品事業]



機能性食品素材は、機能性素材エラスチンの海外向け販売数量が増加したことなどにより、増収となりました。

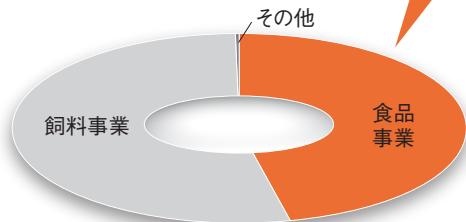
加工食品は、原材料価格高騰に伴う価格改定により、魚肉ねり製品の売上が増加したものの、ハム・ソーセージ等食肉加工品での販売数量の落ち込みにより、減収となりました。

肉類は、豚枝肉相場の高騰に対応するために自社ブランド「霧島黒豚」および国産豚の価格改定により、増収となりました。

これらにより、売上高は110億70百万円(前年同期比0.6%増加)となりました。

セグメント別売上高

110億70百万円
(前年同期比0.6%増加)



[飼料事業]



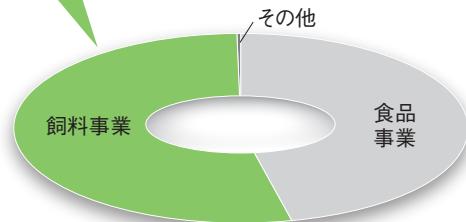
配合飼料は、原材料価格高騰に対応した価格改定や養魚用飼料の販売数量増加により、増収となりました。

水産物は、取り扱い量が増えたことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は126億57百万円(前年同期比28.5%増加)となりました。

セグメント別売上高

126億57百万円
(前年同期比28.5%増加)



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2023年9月30日)
資産の部	
流動資産	18,247
固定資産	13,170
有形固定資産	8,240
無形固定資産	102
投資その他の資産	4,828
資産合計	31,418
負債の部	
流動負債	15,322
固定負債	5,392
負債合計	20,715
純資産の部	
株主資本	9,461
資本金	3,415
資本剰余金	2
利益剰余金	6,203
自己株式	△159
その他の包括利益累計額	1,241
その他有価証券評価差額金	1,224
繰延ヘッジ損益	1
退職給付に係る調整累計額	15
純資産合計	10,703
負債純資産合計	31,418

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	23,749
売上原価	20,774
売上総利益	2,975
販売費及び一般管理費	2,228
営業利益	746
営業外収益	196
営業外費用	89
経常利益	852
特別利益	1
特別損失	3
税金等調整前四半期純利益	850
法人税等合計	225
親会社株主に帰属する四半期純利益	625

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	880
投資活動によるキャッシュ・フロー	△279
財務活動によるキャッシュ・フロー	△344
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	256
現金及び現金同等物の期首残高	562
現金及び現金同等物の四半期末残高	819

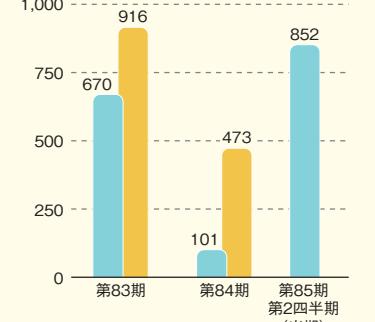
○連結売上高

(百万円)



○連結経常利益

(百万円)



○親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(百万円)

